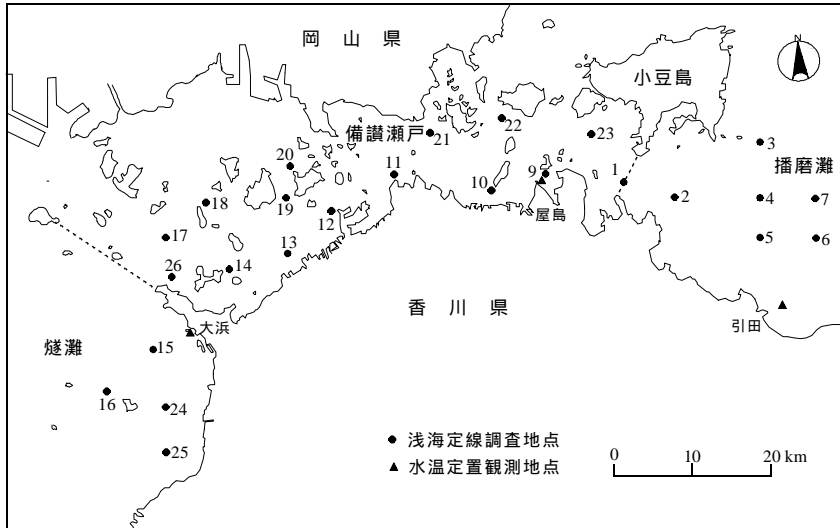


香川県漁海況速報 平成16年11月 (H16- 8号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成16年11月2日(播磨灘) 1日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「著しく低めからかなり低め」、透明度は「やや低めからかなり高め」、溶存酸素は「著しく低めからやや低め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	21.4	21.3	21.6	30.2	30.3	30.7	7.4	4.74	4.59
	平年値	21.3	21.3	21.4	31.8	31.8	32.0	8.4	5.01	4.87
	平年偏差	0.1	0.1	0.3	-1.6	-1.5	-1.3	-1.0	-0.27	-0.28
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	著しく低め	かなり低め	かなり低め	やや低め	やや低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	21.1	21.1	21.0	29.0	29.1	28.5	2.9	4.31	4.28
	平年値	20.7	20.6	20.5	31.5	31.5	31.7	4.9	5.01	4.98
	平年偏差	0.4	0.4	0.4	-2.6	-2.4	-3.2	-2.0	-0.70	-0.70
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	著しく低め	著しく低め	著しく低め	かなり低め	著しく低め	著しく低め
燧灘	4地点平均値	21.2	21.3	21.6	29.5	29.5	29.8	9.6	4.47	4.03
	平年値	21.0	20.8	20.9	31.8	31.9	31.9	7.2	5.50	5.18
	平年偏差	0.2	0.5	0.7	-2.4	-2.4	-2.2	2.4	-1.03	-1.15
	状況	平年並み	平年並み	やや高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	かなり高め	やや低め	著しく低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

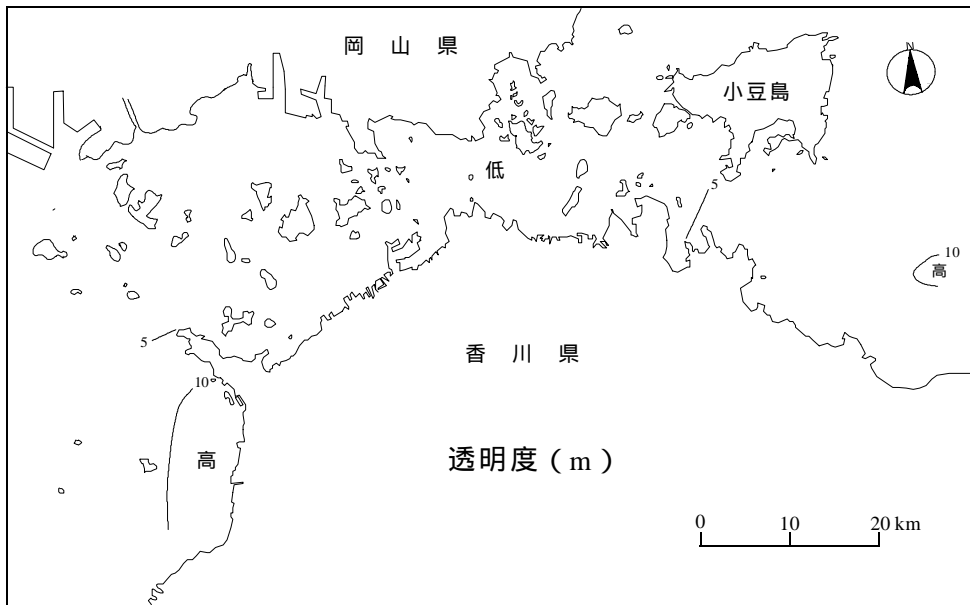
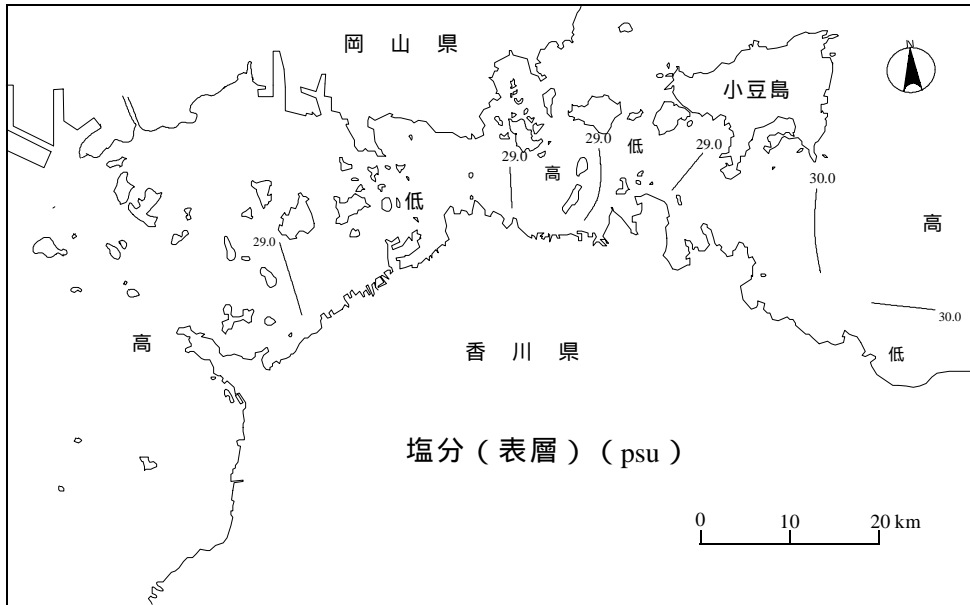
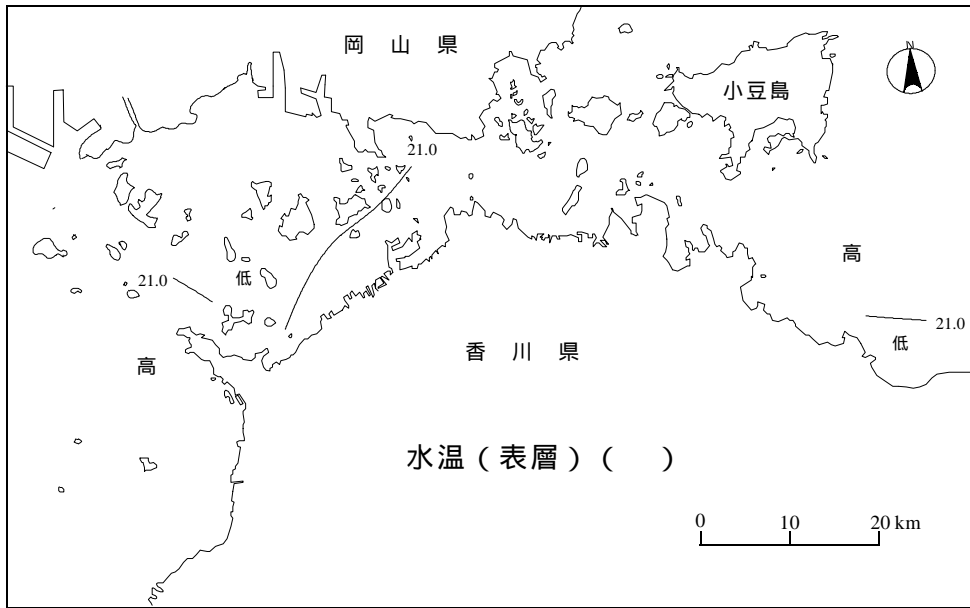
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



2) 定置観測(水温)

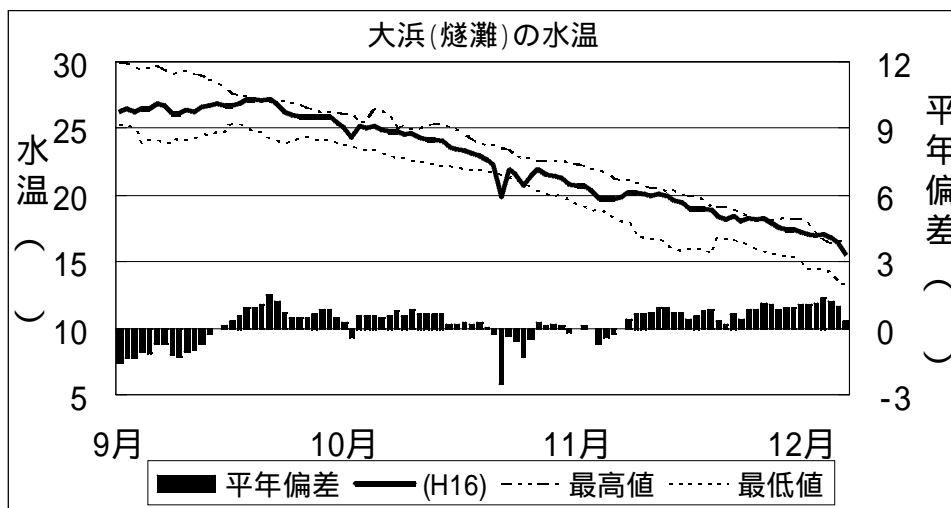
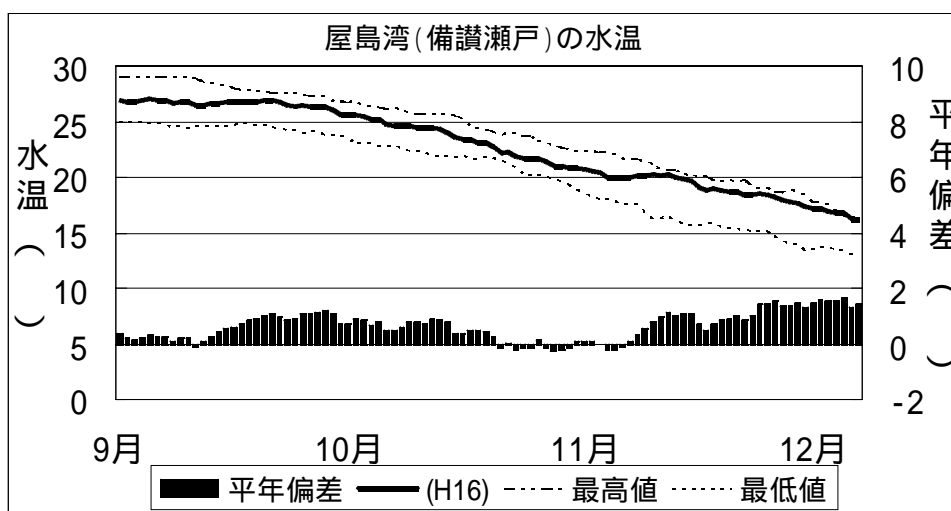
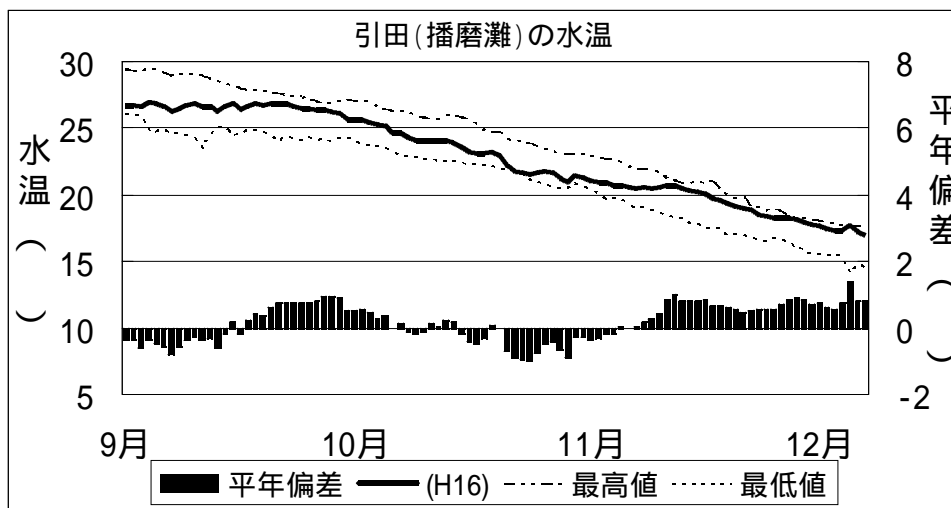
播磨灘(引田): 平年偏差は10月上旬減少傾向で推移し、中旬には-1弱に低下した後、11月上旬に上昇に転じ、中旬から1前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 平年偏差は10月上旬1前後で推移し、中旬に減少し平年値前後を推移した後、11月上旬に上昇に転じ、中旬から1.5前後で推移している。

燧灘(大浜): 平年偏差は10月上旬0.8前後で推移し、下旬に一時大きく低下した後、上昇に転じ、11月中旬から1前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：12月上旬，志度湾で *Heterosigma akashiwo* の赤潮が発生している。
 備讃瀬戸：12月上旬，屋島湾で *Heterosigma akashiwo* の赤潮が発生している。
 燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成16年11月2日（播磨灘） 1日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.50
備讃瀬戸平均	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.10
燧灘平均	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00
総平均	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37	0.22

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	1000.0%	-	-	-
備讃瀬戸平均	333.3%	0.0%	0.0%	0.0%
燧灘平均	42.3%	-	-	-
総平均	91.7%	0.0%	0.0%	0.0%

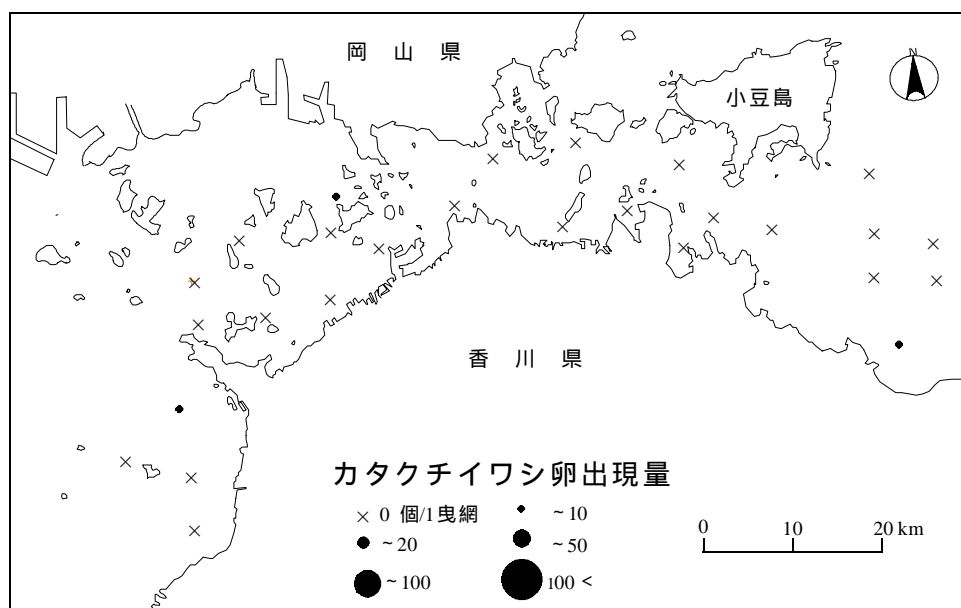
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成15（2003）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成15（2003）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



2. 漁況

10月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は主に小エビ類、コウイカ類、スズキ、ウシノシタ類が漁獲されているが、全般的に低調である。 ます網ではタチウオ、マアジが漁獲されているが、低調である。 シラスの船びき網の秋漁は不漁のまま終了した。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコが漁獲されているが、イイダコは例年に比べると少ない。
燧 灘	底びき網では主にカマス、シロギス、コウイカ類、ガザミ、マダイ（当歳魚）が漁獲されている。 ます網ではタチウオ、コウイカ類が多いが、その他の魚は少ない。 サワラ流し刺網は10月から10統ほど操業しており、漁獲量は0～10本/隻・日である。